

以前、南アフリカでアパルトヘイトという人種差別がありました。これを解決した人は黒人ではじめて大統領になったネルソン・マンデラです。英国人が最も尊敬する人物です。マンデラはこの人種差別を何とかしなくてはと政治的に活動するのですが政治犯として27年間投獄されてしまいます。そこで彼がとった行動が素晴らしかったので多くの人に尊敬され、映画にもなりました。マンデラは世界平和のためにサッカーを用いました。サッカーという競技は人種差別から始まったものでした。しかし、そのサッカーを世界平和のために用いてワールドカップが今あるのです。また、27年間投獄されていた間、彼は白人の看守にひどい扱いをされていました。でもその中で「私は白人を変えようとしているのだからこの看守を変えられなくてどうする。」と言って模範的な活動を続けました。そして一人の看守が心を動かされ、自分が何と浅はかな考えで差別していたのだらうと気づくのです。自分も差別の標的になりかねないのに、この心動かされた白人はマンデラと共に活動し、最後には政治犯として投獄されていた黒人は解放されます。その翌年、選挙権を持った黒人が2日間ならんで投票しマンデラが黒人ではじめて大統領に就任するのです。マンデラは大統領になっても自分が受けてきたひどい仕打ちを白人にかえす事はありませんでした。自分たちの中学生時代、先輩・後輩の関係があったと思います。その関係も伝統だと言って今まで自分がやられた事を後輩にしませんでしたか？人間は、自分がやられて嫌だと思った事を自分より弱い立場の人間にしてしまうし、親にやられて嫌だと思った事を子にしてしまうのです。しかしマンデラは違いました。国を変えるにあたって黒人が受けたひどい仕打ちには誰にもしませんでした。白人も黒人もみんな一緒にこの国を立て直そうとした非常に立派なクリスチャンです。この一人の人がいたから今の黒人差別がなくなったのです。マンデラは27年間投獄されていましたが、それに屈しませんでした。大統領に就任した特既で70歳近かったのです。自分の計画していた事が実現するのが70歳の時だったのです。自分なら考えられますか？どれくらいなら耐えられますか？神さまの計画は本当に偉大です。一人の人を通して行われます。聖書の中でもこの世の中でも一人の人の行動が世界を変えています。私たちはその一人として選ばれるために、神さまはこの場所に私たちをわざわざ選び、つれて来ています。(ヨハネ15：16) あなたの実が残っていますか？一粒の種が地に落ちて死ななければその実を結ぶことは出来ません。私たちは自らの自我に死んでいるでしょうか？完全に死ねば88粒の種を結ぶことが出来ます。まだ自分の心の中心に自分がいて「自分は、自分は…」と言う思いに駆られているなら、聖書はいつも「自らを得ようとする者はそれを失い、自らを捨てる者はそれを得る」と言っているのを思い出しましょう。(マタイ19：26～30) 人には出来ないことが神には出来る…私たちはそう信じていますか？私たちの周りで今、私たちを通して神さまは何かをしようとしています。奇蹟は私たちが信じれば起こります。しかし今私たちは周りに起きている問題に気づいていますか？私たちにしか解決できない問題があるんです。私たちはそれに気づいて解決しようとしているのでしょうか？私たちにしかできません。他に変わる人はありません。目標をしっかりと持っている人はぶれません。しかし私たちはいつも右往左往してしまいます。私たちは目的に向かって歩んでいる人の助け手になっているのでしょうか？自分の目標に進んでいくために助け合っているのでしょうか？(ヨハネ4：35、マタイ9：37～38) 私たちが信じてやると決めたことは必ず実現する・主によって語られたことは必ず実現すると信じて行動しなくてはなりません。神さまは、ただ一つあなたに語ったことを思い起こしなさいと言われていました。そしてそれは決して不可能ではなく可能であると語られています。私たちは犬やネズミのように言われるがままにしか行動できない動物ではありません。私たちに不可能を可能にする使命があります。諦めないで行動しましょう。不可能を可能にするためには①信じ続けましょう。(ルカ1：37・38) 私たちは自分のすべき事を理解しているのでしょうか？自分の言葉を、決めた事を忘れてはいけません。調子を合わせて得られるつまらない同情は私たちにとってただの麻薬であって不必要なものです。私たちに神さまが「こうなるよ」としてくれた約束を信じて不可能と思っても主が語られることは必ず実現すると宣言してください。マリアが「この身になりますように」と言ったように信じ続けてください。②不屈である。決して屈してはいけません。諦めてはいけません。ダビデは30年間耐え忍びました。だからダビデ王朝が確立されてソロモンも知恵で栄えました。モーセもパロの元へ行けと言われて怖いと思ったけど神の言われることを信じてエジプトに行きました。もしもここでモーセがエジプトに行っていなければイスラエルはありませんでした。決して屈してはいけません。自分でやると決めたことはやり遂げましょう。やり遂げてはじめて分かるのです。こんなに偉大な事だったのか、今までの努力はこのためだったのかと言える時が来ます。ですから今は諦める時ではありません。良い時に諦めなさい、悪い時に止めるべきではないと言われていました。悪くなって止めることは誰にでも出来ます。だから大成功して今が引き際だと言って去りましょう。私たちに人としての栄誉なんて必要ありません。私たちに必要なのは自分の目的を達成してその達成した喜びを天国にかえて神さまにあなたの冠だと言われて渡された冠を神さまにあなたの愛故だとお返しするその時が素晴らしいのです。(ローマ5：3～5、ガラ6：8・9) 失望してはいけません。失望で終わるわけありません。今うまくいっていない人は幸いですと言われていました。必ず神の御国が来るからです。だから今悪い人はこの上のない喜びと思いなさいと聖書に書かれています。私たちが得ようとしているものはまだ得られていません。だからいいんです。得られる時が来てその時には天の御国で喜び踊るほどの祝福が得られるでしょう。③見えるものに目を向けない。人であったり答えを出してくれる人だったり結果だったり…見えるものばかりに執着していませんか？私たちは目的と結果をいつも間違えます。私たちのすべき事は結果ではありません。目的を果たすことです。結果それがついてくるだけです。見えるところに目を向けてはいけません。(ヘブル11：1～3) 私たちの目に見えるものは目に見えるものから出来たのでは無く、目に見えないものから出来ているのです。だから私たちの目的は目に見えないものであってはいけません。目に見えないものを理想にするからこそ私たちに目に見える結果があるのです。目に見えるものを求めている人は目に見えないものが絶対に手に入りません。ここから先は自分で適応をつけていきましょう。今日の3つのポイントが私たちに神さまがせよと言われたことです。その命令の根本を思い起こして「絶対に私には出来る・完成できる」と信じて私たちがすべき事に取り組んでいきましょう。肉の欲や環境に負けたり人のせいにしたりしないようにしましょう。私たちが私たち自身で決断して行動しなければならぬことです。それをだれも潰すことは出来ません。私たち自身の決断によりますよ。(要約者：行司佳世)